

東海道新幹線新駅対策特別委員会会議録

令和3年6月11日

寒川町議会

出席委員 天利委員長、山田副委員長
小泉委員、山上委員、橋本委員、横手委員、岸本委員、黒沢委員
佐藤（一）議長
説明者 廣田拠点づくり部長、臼井倉見拠点づくり課長、川部主査、小宮主査
案 件

1. 新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等について
(拠点づくり部倉見拠点づくり課)
2. その他

午前9時00分 開会

【天利委員長】 ただいまより東海道新幹線新駅対策特別委員会を開催いたします。

本日の案件は、次第のとおり、その他を含めまして2件になりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、案件1、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についての説明を求めます。

廣田拠点づくり部長。

【廣田拠点づくり部長】 おはようございます。拠点づくり部倉見拠点づくり課所管の新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてご報告させていただきます。説明に当たりましては、臼井課長より行います。よろしくお願いいたします。

【天利委員長】 臼井倉見拠点づくり課長。

【臼井倉見拠点づくり課長】 それでは、前回3月12日の特別委員会以降の経過等につきましてご報告させていただきます。経過については、タブレット01新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてに基づきご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずは、3月24日に、まちづくりニュース第37号を地元関係者に向けて配布いたしました。本来であれば、1月8日から配布する予定でしたが、1月7日に緊急事態宣言が発出されたことを受け、幹事の皆様への配布の協力依頼を控えておりました。その後の緊急事態宣言解除を受けて配布のお願いをしたものでございます。内容については、昨年度の連絡協議会の開催状況、JR東海への新駅設置要望に加え、ツインシティ倉見地区の骨格道路の状況についてお伝えしています。議員の皆様にはタブレットを通じて配信済みですが、参考としてPDFファイルの3ページ、4ページに資料としてつけております。後ほどご覧いただければと存じます。

続きまして、3月31日に、地元組織であります東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会にて、例年4月に前年度の決算や新年度予算の審議を予定していたところですが、昨年度同様新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を差し控え、令和2年度の幹事の方々にご依頼をし、昨年度の事業報告並びに決算について、決算については3月のうちに書面により開催、承認をいただいたところでございます。

続きまして、4月13日に、県、平塚市、寒川町の3者で構成するツインシティ整備調整協議会が役場内の会議室で開催され、ツインシティ整備推進センター寒川駐在事務所の運営にかかる令和2年度の事業報告、決算報告並びに令和3年度事業計画（案）と予算（案）についての内容を確認いたしました。

続きまして、4月20日に、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会活動の一環として、JR東海との実務者レベルでの挨拶を行いました。資料はPDFファイルの5ページでございます。こちらは平成30年度から実施しているもので、4月の自治体の人事異動、7月のJRの人事異動に合わせて行っていくものとなっております。基本的には地元市町は4月に定期的に参加することとなっております。今回は県、市、町の担当者がJR東海品川本社ビルに伺い、JR東海からは、担当部長を含め3名の方に対応していただきました。内容については、専ら自治体側の新駅誘致に向けた取組をPRすることに限られ、JRからの考えを聞くことができない面談となっておりますが、平成30年度のJR東海の回答でまちづくりへの協力姿勢が表されたこともあって、終始好意的なやり取りを交わさせていただいたのではないかと考えております。今年度も、引き続きJR要望の際は具体的なコメントを引き出せるよう取り組んでまいりたいと考えております。

続きまして、4月26日には、地元組織の連絡協議会の令和3年度第1回となります役員会が倉見地域集会所で開催されました。令和3年度事業計画（案）及び予算（案）、幹事会開催方法などについてご審議いただき、幹事会開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止により昨年度同様書面による開催となりました。

続きまして、5月10日の県期成同盟会の幹事会については、書面会議となりました。総会に向けて総会議案及び総会を書面会議で対応することについて確認をしたものでございます。

続きまして、5月20日に、地元組織の連絡協議会の令和3年度第1回幹事会が書面により開催となりました。事務局では、幹事の皆様には可能な限り個々直接お会いして概要説明をさせていただいた上で、ご回答いただき、令和3年度の事業計画（案）、予算（案）については、いずれもご承認いただいたところでございます。

続きまして、6月3日に、期成同盟会総会は書面会議となりました。資料は、PDFファイルの6ページから27ページ、資料3でございます。令和2年度事業報告、決算報告及び令和3年度事業計画（案）、予算（案）並びに総会決議（案）については、いずれも承認されました。

記載しております経過については以上です。

続きまして、地元への対応状況でございます。コロナ禍により一堂に会しての地元の会議が難しい状況ではありますが、昨年10月から実施しております地元組織の連絡協議会の幹事の皆様との個別等による情報交換については、令和3年度に新たに幹事になられた方や昨年度お会いすることができなかった幹事の皆様に引き続き実施する予定でしたが、現在はまん延防止等重点措置区域に該当することから、実施を見合わせております。まん延防止等重点措置区域の解除がされ次第、幹事の皆様との情報交換会については、再開できるよう準備を進めております。また、コロナの状況にもよりますが、一堂に会しての会議等が開ける状況になりましたら、連絡協議会の会長にコンタクトを取りながら、幹事会やブロック協議会が開催できるよう準備を進めていきます。

いずれにしても、今後の解除の状況を見ながら地元との対話の再開に向け調整を図り、機運の醸

成に努めてまいります。また、関係機関協議につきましては、継続して神奈川県と計画の深度化を図るべく情報共有に努めているところです。

4月に入り神奈川県のメンバーも代わったこともあり、現在まで3回ほど話し合いを重ねているところですが、課題解決に向けてテーマを絞り込んでいくことを共有しました。現在取り組んでいるテーマは3点ほどあり、1点目は新駅設置までのスケジュール感の共有、スケジュール感については、新駅設置時期までにやらなければいけないことを県、町ですり合わせています。2点目は財源調整、新駅やまちづくり事業は、町の財政規模に対して過大な負担となることから、既存の補助制度にとらわれない財政支援を県に要望しているところです。3点目はまちづくりの深度化に向けた技術支援です。現在地元にお示ししている土地利用ゾーニングや道路配置の変更の必要性などの整理をしているほか、新駅とJR相模線倉見駅とのアクセス路にかかる方向性の検討など話し合いを重ねているところです。また、まちづくりの深度化を図りながら、JR東海の技術的助言をいただけるよう県、町で相談材料づくりを進めております。コロナ禍での行動に制約がかかりぎみな面は否めませんが、行政間の取組については可能な限り進めていくという認識の共有は図られているところでございます。

報告は以上です。よろしくお願いいたします。

【天利委員長】 説明が終わりました。これより質疑に入りたいと思いますが、質疑はありますでしょうか。

橋本委員。

【橋本委員】 令和3年度事業計画（案）なのですが、2番目の普及啓発活動等の2番目の子ども向け普及啓発活動で、前回も質問させていただいたんですけれども、圏央湘南都市圏の将来を担う小学生に新幹線新駅誘致の取組をしてもらうための出前事業を実施するというので、これを計画されているということで、前は寒川ではまだ実施されたことがないというご返答だったと思うんですが、また今回計画されているということで、実際この事業というのは小学生だったり、子どもたちが新幹線を利用する世代になってくるのかなとも思いますし、寒川を発展させていく原動力というビッグプロジェクトでもありますので、将来子どもたちが利用していく、また成長過程において住民として参加していく上でも、啓発活動というのはとても大切であると思いますし、大切にさせていただきたいと思いますが、改めて見解をお聞かせいただければと思います。

【天利委員長】 川部主査。

【川部主査】 出前事業につきましては、同盟会の活動の一環で行っておりまして、令和3年度につきましては、まだどこで開催するかについては決まっておりませんので、今後7月に同盟会の担当者会議がありまして、その中で開催場所等の話し合いが行われていくものと考えております。町といたしましては、出前事業につきましては、まず寒川町の社会科資料集という寒川町を3、4年生で学ぶ資料集があるんですけど、その中にツインシティのことも掲載させていただいておりますので、寒川町の小学校につきましては、一定の理解はされているところでございます。出前事業につきましても、寒川町でできるかどうかも含めて同盟会の事務局と話し合っていきたいと考えております。

以上です。

【天利委員長】 橋本委員。

【橋本委員】 ありがとうございます。資料等で一定の理解はあるということなのですが、改めて担当者の方が学校に赴いて丁寧に説明することで、子どもたちもそこで視覚だったりとか、実際に人と話すことで理解を深めることもできますので、これは要望ですけれども、ぜひ実施できる方向で、コロナ禍ということで、いろいろ条件も、制約される部分もあるかと思えますけれども、まだ一度もないということなので、ぜひ寒川町でも、一番拠点となる場所でもありますので、前向きに進めていただけるようお願いいたします。

以上です。

【天利委員長】 要望でよろしいですか。他にございませんでしょうか。

横手委員。

【横手委員】 資料2で、JR東海に挨拶に行ったということで、非常に好意的な良好な関係を築けていて、いい時間だったというようなお話でしたけれども、具体的にどういうお話をされているのかというのが分からないのと、当然要望の文は言えないという中で、向こうに対してもどこまでアピールみたいなものができているのかというのをお聞かせいただけますでしょうか。

【天利委員長】 臼井課長。

【臼井倉見拠点づくり課長】 JR東海の挨拶の際に、どのようなお話をしたかということにつきましてなんですけれども、まず、倉見地区の取組状況並びに定住、交流人口増加に向けた取組についての情報提供ということで、まちづくりを含めて利用者増というところで、町のポテンシャル面から全体像を説明させていただいています。内容といたしましては、河川に沿うようにさがみ縦貫道路がございまして、北、南インター、それに沿うようにJR相模線駅が3駅、寒川駅の北口ではまちづくりが完成、南は工業系の土地利用を図るということで事業実施の段階、寒川駅南口も南の工業系の土地利用を伴う交流人口を受け止めるべく施設整備を行う段階になっているというお話をさせていただいております。また、コロナが収束しましたら全体会を開き、直ちに合意形成に向けたまちづくりの深度化を図っていききたいというような内容をお話しさせていただいておりますので、よろしく願いいたします。

【天利委員長】 横手委員。

【横手委員】 分かりました。もう少し詳しく聞かせていただきたい。実はJR東海が今みたいな話をした中で、どういう反応だったのかというのを詳しく教えていただきたいのと、それと今回お会いした方が4月の人事で先方も代わったのか、多分このクラスになると6月人事、いわゆる株主総会に向けて6月人事というのが結構あるので、そうすると例えば6月人事の対象の方たちなのか、それとも4月人事の対象の方たちか、そこまで分かっていないとは思いますが、基本的に新しく来た方なのか、ここ数年いらっしゃった方なのか、どんな反応があったのか、それをお聞かせいただけますか。

【天利委員長】 川部主査。

【川部主査】 JRの挨拶につきましては、昨年度はコロナのために開催できなかったもので、2年前になるんですけど、まずJRは6月の人事異動なので、4月に異動がなかったところなんですけど、2年前に対して書いてある担当部長につきましては、前回は行ったときと変わらずで、残りの2名の方については新しい方になってございます。

以上です。

【天利委員長】 廣田部長。

【廣田拠点づくり部長】 JR側の反応ということで、臼井課長がただいま申し上げた内容は、私が説明させていただいたものですから、私が補足させていただきたいと思います。それ以外の内容については、資料の27分の4ページに図面があるんですけども、点々が面整備の検討区域、そして水色が新駅周辺整備検討区域ということで、我々はこの中を基本的にはやっていくんですけども、それと並行して倉見駅周辺、これが面整備の検討区域に入っていますので、その整備プラス新駅へのアクセス性の内容について今検討しているんだという部分も、一旦会を閉めた後のオフレコの時間帯に説明させていただいたんです。そういったところ、これは冒頭の説明の内容と同じ内容になってしまうんですが、好意的な受け止め方をさせていただけたものと考えています。

その具体なんですけども、非公式な時間帯ですので、今後その具体が公式の場で議論されるようになったら、ご報告はさせていただきたいと思います。この挨拶自体が要望内容などというのは一切禁止されているということですので、何をお願いします、今度2回目以降の技術的協議をお願いしますとか、そういうことは言えない状況だったんですが、私としては、極めていい受け止め方をさせていただけたものと、ここでは抽象的なお答えしかできないんですけども、具体的なお答えができるような取組を今神奈川県と詰めて、来週も4回目を、2か月足らずで、やっていくんですけども、コロナの状況の中で、まずは神奈川県と町と協調してまちづくりを進めていこうという状況も整えてありますので、引き続き具体のご説明ができる状況になったら、当然お答えしていきたいと考えております。

以上です。

【天利委員長】 横手委員。

【横手委員】 分かりました。ありがとうございます。少しずつよくなってきているのは、この8年間でいろいろ聞いてよく分かります。本当に一步一步、なかなか難しい中で、相手が一部上場企業という中で、なかなか難しいところで、本当に歩みを前に進めていच्छるのにはよく分かりましたので、すごく気になっているのが、今ご存じのように、コロナでJRグループだけで1兆円近く全体で、いわゆる東だ、北海道だ、東海だ、西日本だ、四国だ、九州だというのは合わせると1兆円近い赤字が出ている。

それと、特にJR東海については、売上げの柱が新幹線ということで、かなり落ち込みが激しい中で、回復していくというのが、急回復というのがなかなか見込めない、そしてまた業態もこれから転換していかなければいけないという状況に今迫られているのが現実だと思っています。その辺も含めて先方の状況をしっかりと見極めながら、今後アプローチしていただきたいと思いますので、何よりも相手は巨大な一部上場の鉄道企業、今鉄道会社というのは、それだけじゃなくて生活保護産業と言われていいます。その辺が実は意外と肝になってくるのかなと思っていますので、相手のことを分かった上で今後コミュニケーションを取っていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。要望で結構でございます。

【天利委員長】 他にございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 なければ、これをもって質疑を終結したいと思います。ご苦労さまでした。

暫時休憩に入ります。

【天利委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

続きまして、案件2、その他でございます。委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。

横手委員。

【横手委員】 お伺いしたいんですけど、ほかの常任委員会では、正直なところ、議員間討議を今回その他でほとんどやっけていて、結構盛り上がっていたんですけど、特別委員会というのは、議員間討議というか、テーマが1個に絞られちゃっているんですけど、その周りにいろいろあるじゃないですか。例えば新幹線駅とつながっている私鉄だったり、様々あるじゃないですか。そういうところを研究したりとか、そういうことは考えられるか、ご意見を聞きたいなと思って、考えられるんでしょうか。

【天利委員長】 皆さんがどう感じていらっしゃるのかお聞きしたいんですけど、多分この何10年間この問題はずっと議論されてきていると思うんですけど、その中でそういった調査研究というのがやられてきていると思うんですけど、尽くされちゃったという感もあるのかなと思ったりするので、ただ、こういう時期でございますので、かなり年数がたっていると思いますので、この時代に合ったまちづくりというのをまた再調査というか、そういった研究も必要かなと思うんですけど。

横手委員。

【横手委員】 僕はキャパシティがあるから大丈夫です。それは置いておいて、そういうことをやっけていくのも悪くないんじゃないかなと思うのと、それから最近よく、使い古された言葉ですけど、1周回ってまた変わっているところがあるじゃないですか。1周回ると見える景色も変わってきているところもあるので、それも含めて1回課題の洗い出しとか、議題になるべき課題の洗い出しをしてみてもいいのかなと思うんですけど、どうでしょうかね。

【天利委員長】 今、横手委員から、こういうご提案をいただいたんですけど、それについて皆さんはどういう考えをお持ちなのかお聞かせいただければと思いますが。

黒沢委員。

【黒沢委員】 前回の2年間で、たしか、まちづくりですね。これまでも特別委員会の中で特にやっけてきたのは、駅を中心としたまちづくりの考え方、以前には新駅が設置されたところの現地踏査等も行かせていただいた中で、新幹線の新駅を考えたときに、当然JRとは駅を早く設置してくださいという要望をやるんですけど、地元の皆様のご理解がない限りは町としては進められないんだと思うんですね。

そういう中では、地元の皆さんにこういう考え方でまちづくりをやっけていきますよということは、我々もしっかりと押さえていかなきゃいけないし、これからの駅を中心としたまちづくりというのをどういうふうに考えていくのか、それから町をつくるといっても、いろいろなルールに縛られた中でやっけていかなきゃいけないので、そういうことの研修をやりながら見識を高めていくという方向がいいのかなという気はしているんですけど、それはあとは担当課と正副委員長でよく調整していただいた中で、我々が知っておかなきゃいけないこともありますし、地元の皆さんにお話しする際、地元だけではなく、町民の皆さんにお伝えする際にも、こういう考え方で寒川町は進めているんですよということを我々がしっかりお伝えしなければいけないので、そういう意味では、まちづくりに関してはしっかり勉強して

いく必要があるかなというのはずっと感じています。

【天利委員長】 ありがとうございます。ほかに誰か。

岸本委員。

【岸本委員】 私も前期約4年間委員長を務めました。その中で勉強会もさせていただきました。横手委員が言われたように、コロナ禍において様々な状況が変わってきていると思います。JR東海も含めて、県も含めて。今現状をJR東海はどういう考えで今後まちづくりを進めていくのかとか、県がどういう立ち位置で今後新幹線及びツインシティを捉えていくのか、もう一度現状を把握するのが大事なのかと思っています。議員間討議も含めて我々が勉強し直す、そのタイミングというか、そのような場を与えていただけるとありがたいと思いますので、それは正副にお任せしますが、もう一度担当課を含め、情報提供の場をいただければと思いますので、よろしくをお願いします。

以上です。

【天利委員長】 黒沢委員。

【黒沢委員】 特に平成30年でしたっけ、JRからまちづくりに対する助言をしていきますという話があって、それに町が積極的に取り組んでいるということも伺っています。多分この間何度かやっていた中では、まだ公表できるような内容はないのかもしれないですけど、JRから助言をいただきながら、当然どういう町であるべきかということも進めていくと思いますので、そういったところは我々は押さえていかなきゃいけないのかなという気はしています。

【天利委員長】 横手委員。

【横手委員】 多分おっしゃっているのは、不確定情報が多い中である程度の仮説立てして、その仮説の検証をしていくぐらいのことをやってもいいのかなと思います。当然分からないこともあるけども、大体こういう方向だろうとか、こういうことがあるだろうという仮説を立てて、それに沿っていろいろやっていく、何が必要かという、多分全てのここにいる委員が、新幹線とか、まちづくりに対して理論武装できる状況をつくるべきだと思うんですよ。なので、それを考えていただきたいなと思います。

【天利委員長】 分かりました。皆さんからご意見はほかにありますか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 なければ、いろいろな意見をいただきまして、ありがとうございます。以前にツインシティ倉見地区まちづくりについてというのが、2020年1月22日に勉強会、研修会というんですか、そういうものをやられていますので、それとはまた別の考えだと思うんですが、公共交通網、鉄道を含めたまちづくりで、我が町寒川町の、県の中心部になるんですが、そこが南のゲートと表されているので、我々としてもそちらの方向で行きたいなどは思っているんですが、多分議員間討議するには、皆様が同じ方向を向いていないと、なかなかいい結果が出ないので、そっちの方向に向いていると私は感じ取っているんで、できればそういったものを含めた議員間討議とか、研修会とか、そういったものを1度担当部署と話し合っ決めていきたいなと思っておりますので、まず横浜の羽沢駅、横手委員がよく知っていると思うんですが、そちらもまだ町ができていないので、一番身近なところでは、そのまちづくりがどうこれから発展していくか我々が注視しながら、その良いところを我々の委員会の中で町に提案できればなというところがございますので、そういったものを含めて検討させていただきますが、

それでよろしいでしょうか。

(「よろしく願いいたします」の声あり)

【天利委員長】 ありがとうございます。

副委員長、何かありますか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 事務局はございませんか。

(「なし」の声あり)

【天利委員長】 なければ、これで案件が一応終了いたしましたので、これを持ちまして、東海道新幹線新駅対策特別委員会を終了いたします。

最後に副委員長から挨拶をお願いします。

【山田副委員長】 活発なご議論ありがとうございました。

これを持ちまして、東海道新幹線新駅対策特別委員会を終了します。お疲れさまでした。

午前9時34分 閉会

寒川町議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

令和3年8月26日

委員長 天 利 薫